

「非癌部粘膜に着目した潰瘍性大腸炎（UC）関連大腸癌の新たな早期診断法の開発」に関する研究内容の公開

1. 研究名：

非癌部粘膜に着目した潰瘍性大腸炎（UC）関連大腸癌の新たな早期診断法の開発

2. 目的：

UC 患者の非癌部粘膜組織の（ゲノム異常を反映する）タンパク質の発現を測定することにより，癌化のポテンシャルを明らかにすることを目的とする。

3. 研究の方法：

2000年1月～2013年12月に香川大学医学部・消化器外科と香川県内の研究協力登録施設で手術を受けたUC患者の手術検体からのパラフィン切片を使用する後向き研究である。これらのサンプル（免疫染色標本）を用いて解析を行う。正常粘膜と，癌の合併なく炎症のみで手術された症例の粘膜組織と，癌で手術された症例の非癌部粘膜組織において上皮細胞の特定のタンパク質（Smad4, p53, β -catenin, Ki-67）を免疫染色する。それらを比較することにより，発癌高リスクの因子を抽出する。

4. 研究拒否：

研究対象とならないことを希望する際には各施設に連絡をすれば，情報の削除が可能である。

5. データの集計にあたっては匿名化の後に行う。

試料や診療情報からは住所、氏名などは削られ新しい符号をつける（匿名化）
研究責任者は匿名化番号対照表を作成し、対照表は鍵のかかる場所に保管する。

6. 研究主施設： 香川大学消化器外科

研究責任者：浅野栄介

連絡先：香川大学消化器外科

〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1

TEL: 087-891-2438 FAX: 087-891-2439